

【団体名】
一般社団法人全国コミュニティ財団協会

他の団体を探す

【主題】
地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業

【副題】
多様な資金支援により地域での新しい仕事を生み出す人材育成

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募～選定の結果

計画	選定予定件数	4
実績	申請事業数	6
	申請団体数	6
実績	選定事業数	4
	選定団体数	4

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募プロセス/説明会・個別相談会

説明会	告知期間	31
	参加団体数	13
	実施回数	2
個別相談会（電話相談含む）	実施回数	11～20
評価に関する説明	実施有無	有
	主な実施者	資金分配団体のプログラムオフィサー
	主な実施者が「その他」の場合	
説明会・個別相談会で工夫したこと、よかったこと	【一次公募】説明会においては、公募要領の内容を説明するにあたって、こちらの企画意図を理解してもらうため、申請に当たって作成したセオリーオブチェンジを公開して、何を目標しているのかを説明することに時間を割くようにした。 【二次公募】説明内容は同じだが、一次公募時に録画した映像をオンラインで視聴してもらい形として、個別相談を中心に据えた。	
説明会・個別相談会の課題	【一次・二次公募】説明会では、こちらの意図を説明するように心がけたが、事業名称の「中小企業」という単語がネックとなったのか、NPO支援側からは企業への支援実績がないことへの懸念を、また企業支援側からは起業支援の位置づけであるとの誤解を招きやすかった。	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募プロセス/実行団体の募集

実行団体の募集	告知期間	80
	受付期間	80
	告知媒体の種類	webサイト SNS メール 関連組織を通じた広報 プレスリリース
実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと	【一次公募】当協会の役職員のネットワークを活用して、全国のNPOや企業等の支援組織に当事業の周知を個別またSNS等を中心に行った結果、説明会参加団体や問い合わせ団体数は想定程度集まった。 【二次公募】二次公募においても、引き続き、当協会の役職員のネットワークを活用して、全国のNPOや企業等の支援組織に当事業の周知を個別またSNS等を中心に行った結果、見込み程度の申請数があった。	
実行団体の募集の課題	【一次公募】おおよそ想定通りの問い合わせなどは得られたが、その後、申請した団体が若干、少なかったと考える。 【二次公募】申請数は見込み程度合ったが、問い合わせ数自体が少なかった。一次公募で申請を見送った団体以上の広がりが見られなかったと考えられる。	
実行団体の公募に申請した団体の情報を、募集終了時にwebサイト上で公表しましたか	はい/いいえ	はい
	URL(はいの場合)	https://www.cf-japan.org/newspress/385/
	公表予定日 (いいえの場合)	2021/03/29

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募プロセス/申請団体の審査

審査委員の人数	合計	5
	内訳:外部委員の人数	5
	内訳:内部委員の人数	0
審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見の取り入れ方	【一次・二次公募】審査員は、若者育成、起業支援、NPO・市民活動支援に取り組んでいる立場の異なる方々5名に依頼した。今回の事業においては、社会的事業の案件組成・仲介だけでなく、実行団体の組織内の若手リーダー人材育成も意図しているため、それぞれの専門的見地から審査していただくことを意図した。	
審査を行う者の利益相反の防止措置の方法	【一次・二次公募】現在役員等を務める団体が申請団体であった場合は、当該団体の審査においては加わらないように要請した。	
申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認方法	【一次・二次公募】基本的に、新規で財団を作ることを想定する事業でもあるため、申請時点での整備状況は問わなかった。ただし、「規程類に含める必須項目の確認書」を添付してもらい、採択された場合にどのような規程を整備する必要があるのかを認識してもらった。	
申請団体との面談実施状況	【一次・二次公募】申請団体にはまず、事務局が約3時間事前セアリングを実施し、申請書から読み取れない、団体の成り立ちから通常事業の取り組み、今回の申請事業に取り組む背景と生み出したいインパクトなどを尋ねて整理していた。その後、審査員を交えた審査会を開催し、プレゼンテーションと質疑応答にて審査の面談を行った。	
申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと	【一次・二次公募】事前セアリングにおいて、申請書から読み取れない行間などを補充したレポートを事務局が作成して、審査員が予め必要な情報をインプットできるようにしたこと、団体の質疑応答も本質的な部分に着目して進められ、スムーズな審査につながった。	
申請団体の審査の課題	【一次・二次公募】コロナ禍において全てオンラインでの審査プロセスだったため、申請団体や現場の空気感を感じられにくい場となった点は否めない。	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募の設計/申請団体数

実行団体の選定予定件数に対する申請件数	想定より少なかった	
その要因	【一次・二次公募】中小企業の社会事業化支援かつNPO等の非営利組織の支援にも輪を置くこと、また、いわゆる起業支援・事業化支援だけでなく、資金仲介の支援も担うことなど、多層的な取り組みが求められたため、企業支援を行うファンドなどからも相談はあったが、最終的に申請団体が少なかったのだと思われる。	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

公募の設計/実行団体の事業内容

設定した社会課題の解決に対する実行団体の事業内容	想定通りだった	
その要因	【一次・二次公募】事前説明会や相談において今回の事業の意図などを丁寧に説明した結果、予算獲得のための申請ではなく、本当にこれからの地域に今回の事業が必要だと認識した、合意が得られている団体のみが申請したためだと考えられる。	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

選定結果の通知及び公開の状況

実行団体に選定しなかった申請団体に対する不選定理由と改善点の共有の有無	有無	はい
	通知予定日 (いいえの場合)	
	実行団体の選定結果の情報公表のwebサイト上での実施	有無
人件費水準をwebサイト上で広く一般に公開しましたか（経費に人件費が含まれる場合）	はい/いいえ	はい
	URL(はいの場合)	https://www.cf-japan.org/about/disclosure/
	公開予定日 (いいえの場合)	
ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類をwebサイト上で広く一般に公開しましたか	はい/いいえ	はい
	URL(はいの場合)	https://www.cf-japan.org/about/disclosure/
	公開予定日 (いいえの場合)	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

広報

メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・web等）	有無	無
広報制作物等	有無	無
	内容	
報告書等	有無	無
	内容	

公募～選定の結果 | 公募プロセス/説明会・個別相談会 | 公募プロセス/実行団体の募集
公募プロセス/申請団体の審査 | 公募の設計/申請団体数 | 公募の設計/実行団体の事業内容
選定結果の通知及び公開の状況 | 広報 | ガバナンス・コンプライアンス

ガバナンス・コンプライアンス

社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか	回答	はい
	理由 (いいえの場合)	
内部通報制度は整備されていますか	回答	無
	整備状況	JANPIAの窓口を利用
	利用有無	利用はありませんでした
利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか	回答	いいえ
	理由 (いいえの場合)	新年度に改めて実施予定。
関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか	回答	はい
	理由 (いいえの場合)	
コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか	回答	いいえ
	理由 (いいえの場合)	2020年度よりコンプライアンス委員会の設置準備会を開いており、正式には2021年度から年2回開催予定